

ガの大量発生について

市内では、ここ数日、大型のガ「クスサン」が大量に発生して夜間は街路灯などに集まり大変な状態になっております。

ガの大量発生は、10年～数年のサイクルで繰り返されており、今年は、その年にあたるようです。

大量発生中のガについて

「クスサン」は、モスラのような外見で大型であるため、家の電球などに飛来してパニックになった経験をおもちの方も多いかと思います。

しかしながら、その外見とは違って、悪名高いマイマイガのように毛虫のときに毒をもっていたり、成虫になってからも毛が皮膚にささったりといった人に危害を加えることはありません。

また、口はなくマイマイガのように作物を食い荒らすこともありません。

成虫になると寿命は短く、10日程度といわれていますが、ウイルスや細菌にも弱く、大量死して、いっきに発生が終息することもあるようです。

このようにクスサンは、ただ気持ち悪いのと大量の死骸が汚らしいだけなのです。



駐車場灯などの外灯の消灯について

確かに外壁にびっしりとついた大量のガを目にすると気がめいってしまいます。そのため、殺虫剤を噴霧して退治しようとしても、残念ながら成虫にはその効果は期待できません。困った挙句、駐車場などの外灯を消すよう要望する声が寄せられています。外灯は、いわゆる防犯灯の役割と足元を照らして、つまずきなどによる転倒を防止する役割をもっています。

ガが気持ち悪いからといって、転んで怪我をして取り返しのつかない事態になることを考えると外灯を消すという選択肢はありません。クスサンの短い命を全うするのを待つ方が賢明といえるのかもしれませんが。

令和4年8月

芦別市営住宅管理センター
電話0124-27-7250